



校 園 長 だ よ い

岸和田市立旭小学校

NO. 5 幼稚園

令和2年7月30日

校 園 長 辻 下 辰 巳

☆ 卒業生の大兼政友介さんの講演会を行いました！ ☆

7月28日（火）4時間目に体育館で、本校の卒業生の大兼政 友介（おおかねまさ ゆうすけ）さんが、5・6年生を対象にお話をしてくれました。

大兼政友介さんは、旭小学校を平成4年に卒業され、現在も土生町にお住まいです。2017年7月から2019年12月まで2年5か月にわたって、JICA（日本国際協力機構）の青年海外協力隊の一員として、南アフリカ共和国で現地の方々のためにボランティア活動を行ってこられました。

大兼政さんは、社会人になってから調理師として働いていました。数年後、福祉の仕事に関心を持たれ、仕事をしながら勉強し、介護福祉士や社会福祉士の資格を取られて、障がい者の施設で働くようになりました。

海外でも仕事がしたいという思いがあり、2017年にJICAの青年海外協力隊に応募し、南アフリカに派遣されることになりました。

南アフリカでは、北部のリンボポ州ラバリ村でホームステイをしながら、現地の障がい者のお世話をするデイケアセンターでボランティアとして働いていました。与えられた仕事が、そのセンターで行うサービスの質の向上でした。道具も何もない中、①楽器演奏 ②ダンス ③微細運動（描く、塗る、切る、貼る等） ④基礎教育（体の部分の名前、数字、アルファベット等）の4つに取り組むことにしました。「楽器演奏」では、日本から使われなくなったピアノやリコーダーを送ってもらい、息の吹き方から教えていったそうです。

お話の前半では、クイズを通して日本と南アフリカの違いについて教えていただきました。また、現地で撮った写真をたくさん使って、分かりやすくお話をして下さいました。

最後まで熱心に聴いていた子どもたちに、「行動力をみがく。人生一度きり、いろいろなことにチャレンジしよう。」と訴えておられました。

本日の講演会に、永野耕平岸和田市長様、JICAの佐藤様、津田様、秘書課の小田様、学校教育課の新田先生が参加されました。

